

7か月頃～

# 自分の欲求で動けるようになっていきます

～いままでは、与えられたもので満足していましたが、1人の人間として、自ら求めていく時期になっていきます～

目が見える  
音が聞こえる

五感の発達

「あれは何だろう・・・確かめたい!!」

社会的な「人」として生きていくための赤ちゃん自身の欲求

声を出して要求する

## ●要求を声に出して、周りに伝えようとしています●

声にも抑揚がついて、音の高さや強さに変化が出てきます。  
赤ちゃんの声や泣き方を聞きわけて、対応してあげることが大切になります。

「コミュニケーションのスタート」です

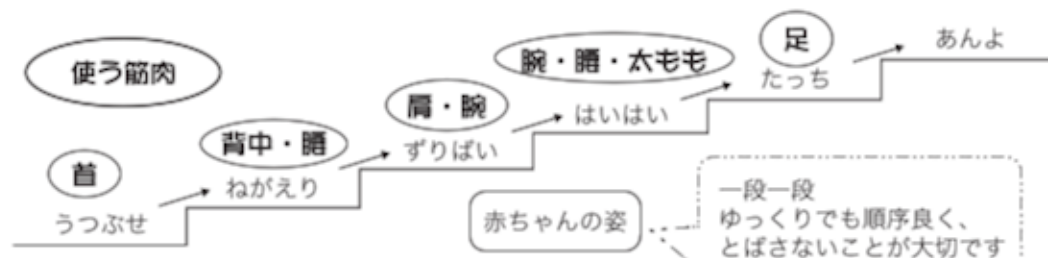
「おなかがすいたね」「オムツがぬれて気持ち悪いね」という  
赤ちゃんの気持ちや「ごはん食べようね」「お散歩に行こうね」等の  
行動の切り替えのときなどの「言葉かけ」が重要な時期です。

せっかく赤ちゃんが要求しているのに、周りからの反応がないと  
大人と同じように赤ちゃんも意欲をなくしてしまいます。

★ 毎日、同じ生活リズムをつくっていくと、赤ちゃんの  
要求が予測できるようになります。

手を伸ばす・身体を動かして何とかが触ろうとする

## ●自分でからだを動かし、筋肉や神経を育てています●



## ◆ 全身をきたえる大切な「はいはい」 ◆

お腹で方向転換・後ろにずりずり・ずりばい（ほふく前進）・よつばい・高ばい などがあります。

★ 『はいはい』は全身運動で身体の筋肉（首・腕・腹筋・背筋など）をきたえます。  
一生のなかで、歩く（足をきたえる）期間は長いけど、『はいはい』をするのは短い期間です。  
なるべく『はいはい』をさせて身体の筋肉をきたえましょう。

## ◆ おすわり ◆

★ 筋肉がやっと腰まで育ったところです。無理な『おすわり』は腰に負担がかかります。  
『はいはい』などの床遊びをしっかりとすることで『おすわり』するための筋肉をつけましょう。

★ 『おすわり』ができるようになると、視野がぐっと広がります。また、両手が自由になるため、  
手や指の発達もすすみ、小さな物でも上手につかめるようになっていきます。

## 事故予防が大切です

興味いっぱい、欲求いっぱいの赤ちゃん！  
自分で移動できるようになり、床の上から、高い  
ところまで見渡せ、つかんだものを口に入れたり、  
転倒・転落・・・など。  
大人が「事故予防」をしてあげることが大切です。

危険！